

125. ビタミンの特徴はどれか。

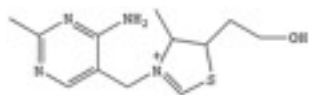
- a. 栄養素である。
- b. 共通の構造をもつ。
- c. 不安定な物質である。
- d. 金属イオンを含む。
- e. タンパク質である。

126. 水溶性ビタミンに分類されるのはどれか。

- a. ビタミンA
- b. ビタミンB₁
- c. ビタミンD
- d. ビタミンE
- e. ビタミンK

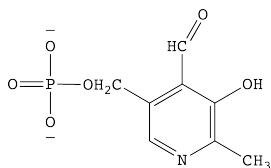
127. 図に示すビタミンはどれか。

- a. ビタミンA
- b. ビタミンB₁
- c. ビタミンD
- d. ビタミンE
- e. ビタミンK



128. 図に示すビタミンはどれか。

- a. ビタミンB₁
- b. ビタミンB₂
- c. ビタミンB₆
- d. ビタミンB₁₂
- e. ビオチン



129. チアミンの関与する反応はどれか。

- a. アミノ基転移反応
- b. コラーゲンの生成
- c. カルボキシグルタミン酸の生成
- d. ピルビン酸の脱炭酸反応
- e. メチオニンの合成

130. チアミン欠乏症に見られる症状として適切なものはどれか。

- a. 出血傾向
- b. 心不全
- c. 肥満
- d. 皮膚炎
- e. 貧血

131. ウエルニッケ脳症の説明として正しいのはどれか。

- a. アスコルビン酸の欠乏で生じる。
- b. 視力の低下が特徴的である。
- c. アミノ酸代謝に異常が見られる。
- d. 運動失調が見られる。
- e. 皮膚炎を合併する。

132. ナイアシンの説明として正しいのはどれか。

- a. FADが活性型である。
- b. トランスケトラーゼの補酵素である。
- c. 酸化還元酵素の補酵素となる。
- d. トウモロコシに栄養素として多量に含まれる。
- e. イソアロキサジン環を構造に含む。

133. ビオチンの説明として正しいのはどれか。

- a. 卵白に多量に含まれる。
- b. アミノ基転移反応に関与する。
- c. カルボキシ化反応の補酵素である。
- d. 欠乏により下痢などの消化器症状が見られる。
- e. 脂溶性ビタミンである。

134. ビタミンB₁₂の説明で正しいのはどれか。

- a. 酸化還元反応に関与する。
- b. トランスケトラーゼの補酵素である。
- c. 分子内の官能基転移反応に関与する。
- d. 胃粘膜で吸収される。
- e. 鉄イオンを含む。

135. ビタミンCの説明として正しいのはどれか。

- a. 脂溶性ビタミンである。
- b. 血液凝固に関与する。
- c. アミノ酸代謝に重要な役割をもつ。
- d. コラーゲン合成に関与する。
- e. 配位子としてコバルトを含む。

136. 水溶性ビタミンとそれを補酵素とする反応の組み合わせで正しいのはどれか。

- a. チアミン ——— アルデヒド基転移
- b. リボフラビン ——— アミノ基転移
- c. ピリドキサルリン酸 ——— メチル基転移
- d. ビオチン ——— 水素イオンと電子の移動
- e. シアノコバラミン ——— アシル基の担体

137. 水溶性ビタミンと補酵素型の組み合わせで正しいのはどれか。

- a. ビタミンB₁ ——— アデノシルコバラミン
- b. ビタミンB₂ ——— ニコチンアミドアデニンジヌクレオチド
- c. ビタミンB₆ ——— ピリドキサルリン酸
- d. パントテン酸 ——— フラビンアデニンジヌクレオチド
- e. ビタミンB₁₂ ——— チアミンピロリン酸

138. 酵素名と反応に関与する補酵素の組み合わせで正しいのはどれか。

- a. アセチルCoAカルボキシラーゼ ——— ナイアシン
- b. ピルビン酸デヒドロゲナーゼ ——— ピリドキサルリン酸
- c. プロリンヒドロキシラーゼ ——— アスコルビン酸
- d. コハク酸デヒドロゲナーゼ ——— 葉酸
- e. メチオニンシンターゼ ——— チアミンピロリン酸

139.核内受容体と結合するのはどれか。

- a. ビタミンA
- b. ビタミンB₂
- c. ビタミンC
- d. ビタミンE
- e. ビタミンK

140.ビタミンと欠乏症の組み合わせについて正しいのはどれか。

- a. ビタミンA ―― 壊血病
- b. ビタミンB₁ ―― 出血傾向
- c. ビタミンC ―― 視力障害
- d. ビタミンD ―― 骨折
- e. ビタミンK ―― ペラグラ

141.ビタミンAの説明で正しいのはどれか。

- a. オプシンと結合する。
- b. 過剰摂取により異所性の石灰化が見られる
- c. 欠乏により出血傾向が現れる
- d. 脂質過酸化を抑制する
- e. 小児で大量摂取が必要である

142.ビタミンDの作用として正しいのはどれか。抗酸化作用をもつ。

- a. オプシンに結合する。
- b. カルシウム代謝を調節する。
- c. 血液凝固因子を活性化する。
- d. コラーゲン合成に関与する。

143.くる病の説明で正しいのはどれか

- a. 小児期に発症する。
- b. 血中カルシウム濃度が高値を示す。
- c. 異所性の石灰化の原因となる。
- d. ビタミンD投与は禁忌である。
- e. 脳圧亢進がみられる。

144.ビタミンKの説明で正しいのはどれか。

- a. グルタミン酸カルボキシラーゼの補酵素となる。
- b. 核内受容体に結合する。
- c. カルシウム代謝を調節する。
- d. 欠乏により壊血病を起こす。
- e. コバルトを含む。

145.図に示す物質で正しいのはどれか。

- a. ビタミンB₂の誘導体である。
- b. アミノ基転移反応に関与する。
- c. 酸化還元反応の補酵素である。
- d. 欠乏により脚気を起こす。
- e. 脂溶性ビタミンである。

